

海外安全対策情報
2020年1月～3月

在オークランド総領事館

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) テロ関係

2019年3月15日、クライストチャーチにある2カ所のモスクでイスラム教徒をターゲットとした無差別乱射事件があり、51人が亡くなりました。犯人として白人至上主義を唱える豪州国籍の男性が逮捕され、この事件を受けてNZ政府は武器の規制強化に乗り出しました。ニュージーランドも他国と同様テロの危険から免れられないというのがニュージーランド政府の見解です。NZ首相府は、「当国もイデオロギー、政治又は宗教上の過激思想を有する個人や小グループにより、攻撃される可能性は否めませんが、団結した強い社会を築き上げることが、テロに対する最大の防衛策となる」と述べています。

(2) 一般治安関係

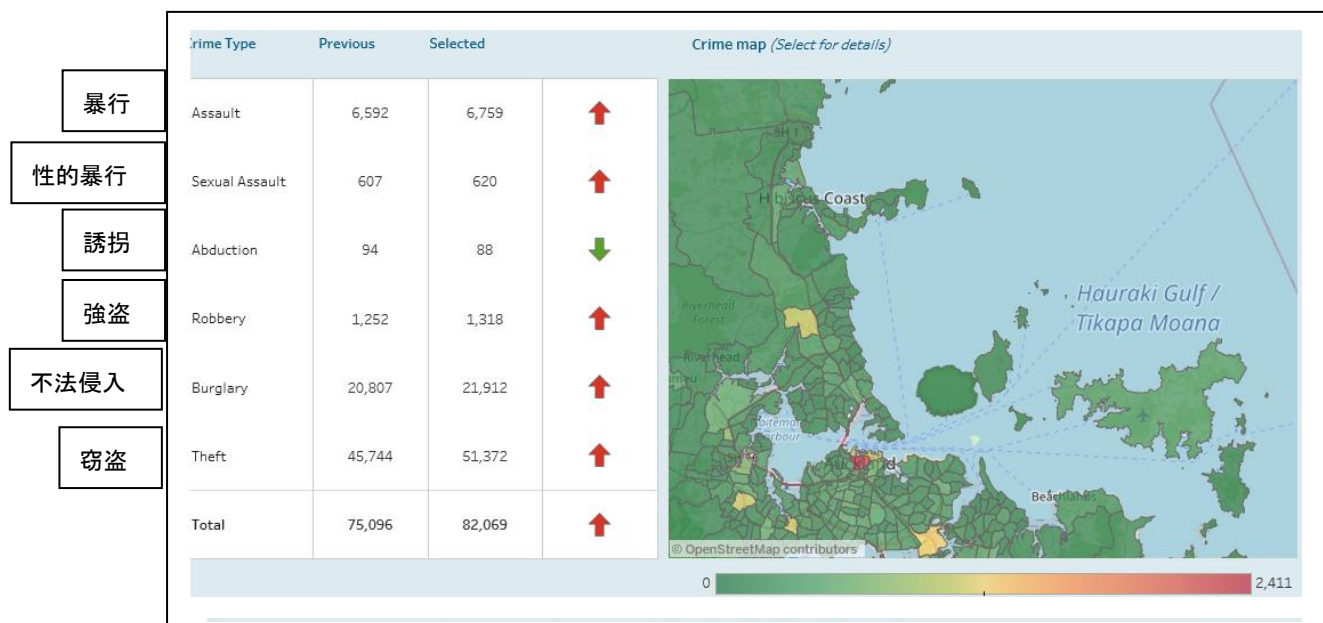
NZでは強盗や侵入窃盗、車上狙いや繁華街での暴行事件が多く発生しています。そのため防犯対策には十分な注意が必要です。また、犯罪組織メンバー同士の抗争も発生しており、繁華街等では、争いに巻き込まれないよう特に注意してください。

このほかNZ国内では、薬物汚染が社会問題化しており、NZ政府は治安対策強化のため1,800名の警察職員を増員し、組織犯罪対策や各種犯罪の対策を行っています。

(3) オークランドの犯罪傾向

2019年4月～2020年3月のオークランド市の犯罪傾向についてオークランド警察は次の通り発表しています。

注：表の中の Previous と記された件数は、昨年同時期の事件件数です。



2 テロ・爆弾事件発生状況

現在、ニュージーランドのテロ脅威度は中間レベル (Medium) で、クライストチャーチのモスク襲撃事件後、一段階上昇しています。

New Zealand's Threat Levels	
Threat level	Definition
Negligible	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as very unlikely.
Very Low	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as unlikely.
Low	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as possible, but is not expected.
Medium	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as feasible and could well occur.
High	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is assessed as very likely.
Extreme	Terrorist attack, or violent criminal behaviour, or violent protest activity is expected imminently.

3 ニュージーランド警察からの発表

- (1) 家の修理業者から不当な料金を請求される被害に遭った人が増加しています。例えば、屋根の修理を行いますと言う電話をもらい、仕事を依頼すると、劣悪な、あるいは未完成の仕事に対して高額の料金を請求してきます。話がうますぎると思ったら疑ってかかり、勧誘の電話を取り合わないことが重要です。被害に遭ったら 105 番に通報してください。

(2) 個人情報や金銭を求めてくる迷惑電話に注意してください。最近のケースでは、通信会社 Spark を名乗る人に騙され、\$57,000 の損失を被った人や、銀行の取引に関して受けた電話にひっかかり、危うく \$12,000 を失うところだった人もいます。面識のない人物を信用せず、ビジネス関係の電話を受けた場合には証明書を要求しましょう。コンピューターのパスワードや銀行口座の詳細を決して伝えないようにしてください。

(3) 1月12日早朝、タウポで起こった5件の放火事件について、情報を求めています。放火された2軒の家は完全に焼け落ちました。Hatepe では、放火された際に屋内で家族が眠っていたため問題視しており、不審者の目撃情報を募っています。

4 当地の主な事件・事故

(1) 薬物犯罪

- 1月16日、ノースランド地方で4000株以上のマリファナが押収。5つのグリーンハウスを使用してマリファナを栽培し、20~45歳の4人の男が逮捕。
- 2月11日、ミステック作戦と名付けられた8か月に及ぶ捜査で、NZ\$5 million 相当のメタンフェタミン等薬物を押収。この麻薬組織は、過去3年間にメタンフェタミン、MDMA、コカイン、エフェドリン等の麻薬を1トン以上輸入していた。複数の国を経由して麻薬をNZ在住の共犯者に送っていた海外在住のNZ人男性が、2月2日にイタリアで逮捕。NZに本国送還された後、犯罪組織における麻薬、マネーロンダリング等の94の罪に問われることになる。NZ在住の共犯6人も今回の11件の家宅捜査で逮捕されたが、既に昨年末に同じ犯罪組織のメンバー3人が逮捕済である。組織犯罪担当刑事(National Organised Crime Group) Detective Inspector Paul Newmanによれば、「最近の汚水の分析結果によれば、全体としてNZ人は週に13キロのメタンフェタミンを使用しており、1トンのメタンフェタミンもしくはその材料となるエフェドリンは1年分以上の使用量にあたる」とのこと。逮捕された10人は28歳~57歳でチリ、イタリア、ブラジル、フィリピン国籍者を含む。

- 2月13日、ベイオブプレンティー地方の Whakatane で麻薬、武器、弾薬が押収。メタンフェタミン製造のための秘密のラボも発見され、2人逮捕。
- 3月11日、ワイカト警察は West Huntly にて3件の家宅捜査を行い、42歳と36歳の女2人を逮捕。同地域におけるメタンフェタミン販売をしらべるために極秘捜査を行った成果です。多額の現金、メタンフェタミン、ピストル等の武器、盗難車2台を押収。
- 3月21日午後9:30、オークランド市 Blockhouse Bay で通常の聞き込みを行っていた警察が麻薬及び現金を押収。所持していたピストルから空砲を放ち逃走した男が逮捕され、現金\$10,000 及びメタンフェタミンの所持も発見。近くの車にいた3人の男も武器、麻薬及び麻薬使用に関連した道具を所持。

(2) 窃盗・強盗事件および銃器による犯罪

- 1月12日午後11:30、オークランド市 Warkworth の救急車センターに強盗が入り、救急隊員が襲われた。犯人は逃亡し、現在警察が捜査中。怪我を負った隊員は病院に搬送され、治療を受けた後、翌日退院した。
- 1月15日午前2:50頃、オークランド市 Favona 地区で銃声が聞こえたと通報があり、57歳の女性が遺体で発見された。
- 2月5日、ロトルアの住居を捜索した際に、車から盗んだと思われる盗品が多々押収され、28歳の男と20歳の女が逮捕された。盗品のほとんどは、ハンドバッグ、現金、携帯電話である。ロトルア在住者で車上荒らしに遭ったことを通報していない人は、ロトルア警察に連絡してほしい由。
- 2月11日午後7:40頃、ベイオブプレンティー地方の Omanawa で銃声があったと通報があり、2人の男性の死亡が発見された。その後、2月13日午後7:40頃 Tauranga で、2月11日に Omanawa で起きた2人の殺人事件に関与している車両を発見、警察が停止するよう指示したが、運転手は逃亡を試み、警察に対し発砲し始めたため、銃撃戦となった。逃亡車両の運転手は警察に撃たれ、死亡した。この事件に関連し、他に25歳のベイオブプレンティー地方在住者がクライストチャーチで逮捕された。
- 2月24日午後8:45、ノースランド地方 Kaikohe で銃声がしたという通報を受け、警察が現場に到着すると、車の近くに男が倒れており、オークランド病院に搬送されたが途中で死亡した。
- 2月28日11:45頃、オークランド市南部 Otara で銃声があったと通報を受け、Bairds Road の住所に向かったところ、男が倒れておりその場で死亡、もう一人の男がミドルモア病院に運ばれた。
- 2月29日午前7:42頃、オークランド市 Mt Roskill で銃声があり、3人が怪我をした。

警察は Marion Avenue から逃走するのが目撃された黒っぽい色の SUV または大型車の情報を求めている。

- 3月4日、2月20日に起きた Manukau の Kiwibank 強盗事件で、24歳、29歳、33歳の3人の男が逮捕された。犯行には斧が使用された。

(3) 殺人・傷害事件

- 1月1日午前1:00前、Waihi Beach で男性が危篤状態であると通報があった。緊急治療を施したが、男性はその場で死亡した。警察は関係者に状況を確認中。
- 3月6日、前日オークランド刑務所内で事故があり、25歳の男が死亡した。この事件で、4人が殺人罪で告発された。
- 3月10日、早朝オークランド市 Epsom で死体で発見された男性の事件を殺人として捜査を始めた。被害者はアジア人ではないと発表された。

(4) 交通事故・水難事故

- 1月13日午後1:05、オークランド市 Victoria Street において運転手不在の2階建てツアーバスが暴走した。昼食時間帯であったため通行人も多く、3人が怪我を負い、病院に運ばれた。バスは交差点を突っ切って工事現場に衝突して停止した。
- 1月15日夜9:05、警察に通報があり、オークランド市マヌカウ岬でボートが転覆し、1人が死亡、2人が軽傷を負ってミドルモア病院に搬送された。
- 1月26日午前6:08、北部ノースランド地方カイトアイアで車が木に衝突する事故があり、運転手が死亡。
- 1月26日午後2時頃、ワイカト地方 Karapiro で2台の車の衝突事故があり、1人死亡。
- 2月2日午後4時頃、ワイカト地方の Morrinsville-Tahuna Road でバイクと自動車の事故があり、バイクに乗っていた人が死亡。
- 2月6日12:39、ベイオブプレンティアー地方の Te Puke で2台の車の衝突事故があり、1人死亡。
- 2月7日10:00、オークランド市 Mt Wellington の Sylvia Park Shopping Centre 近くで事故があり、運転手が死亡。
- 2月7日、ファカタネの近くにある Ohope Beach で水難事故があり、1人死亡。
- 2月9日、オークランド市南部の Karioitahi Beach で3人が溺れ、うち2人は自力で岸までもどったが、1人死亡。
- 2月10日午前1:10、ワイカト地方 Ohinewai で女性が運転する車が防壁に衝突した後、電車の線路上で停止した。運転手はワイカト病院に搬送されたが死亡した。
- 2月15日午前10:50頃、オークランド市 Henderson で交通事故の通報があった。乗車していた2人のうち1人が死亡。
- 2月22日午前10:35頃、ワイカト地方 Morrinsville で事故があり、1人が死亡、4人が軽傷を負った。

- 2月22日午後5:40頃、ワイカト地方 Cambridge の交通事故で2人死亡。
- 2月22日午後7:15頃、ワイカト地方 Pipiro の交通事故で1人死亡。
- 2月23日午前2:13頃、ノースランド地方 Whangarei の近くで起きた交通事故で3人死亡。
- 2月23日12:40頃、ワイカト地方 Piopio で1人死亡、1人が重傷を負った。
- 2月25日午後6:06、ワイカト地方 Manunui で2台の衝突事故があり、1人死亡。
- 2月28日午前8:05、ハミルトン市で駐車中の車に衝突する事故があり、運転手が死亡。
- 2月29日午前午後11:50頃、ワイカト地方 Piarere でミニバスとトラックの衝突事故があり、1人死亡。
- 3月3日午前10:00、ファーノース地方 Mangonui で2台の車の衝突事故があり、1台は横転した。1人死亡、2人が重軽傷を負った。
- 3月4日、ワイカト地方 Hauraki で歩行者と車の事故があり1人死亡。
- 3月11日、ベイオブプレンティー地方 Paengaroa の交通事故で1人死亡。
- 3月13日午後2:17、ファーノース地方 Towai で2台の衝突事故があり3人死亡。
- 3月13日午後9:10、オークランド市 Henderson の踏切事故があり1人死亡。
- 3月14日午後2:30、ワイカト地方 Waikato River で水難事故があり1人死亡。
- 3月15日1:15頃、オークランド市北部 Point Wells で水中に男性の死体を見つけたと通報があった。
- 3月16日午後9:30、ワイカト地方 Cambridge で交通事故のため1人死亡。
- 3月19日午前10:51、ベイオブプレンティー地方の Lake Rotoma で水難事故があり、1人死亡。

(5) その他

- 1月1日午前3:20、ハミルトン市の Casey Avenue で容態が悪い人が複数いる旨通報があった。1人が死亡、3人がワイカト病院へ搬送された。原因は調査中である。
- 1月8日、Otarawairere Beach で若い女子に話しかけた53歳の男性がわいせつ罪で、ファカタネ警察により逮捕された。
- 1月10日、Newshub の報道によると、生体認証技術が薬物密輸や小児性愛者の入国阻止に有効である。2016年に新しい顔認証システムが開発されて以来、入国時に拒否される訪問者の数が大幅に増加。昨年は410万人がNZを訪れたが、海外からの訪問者を取り締まる入国管理官は、パスポートのチェックだけでなく、入国者の顔認証・指紋データを Migration Five Partners と呼ばれるカナダ、米国、豪州、英国、NZ間で共有し、訪問者の未申告の犯罪歴、書類の不備や偽名等の情報を数分で判明することが可能になった。生体認証データ共有が開始した2016年以来NZ移民局は現在570万人の顔のイメージ及び33,000の指紋データを保有しており、これらのデータは最低50年間保管される。国際犯罪組織にからんだ犯罪者や他人になりすました人等、判明した不正入国者の数は上昇しており、2016年には11件、2017年には79件、2018年は106件、2019年は9月までで73件を記録している。

- 2月3日、オークランド市 Mt Eden で1月31日に改装中の家屋の軒下に埋まっていた骨は人骨であることが判明した。かなり長い期間、地中に埋められていた可能性がある。
- 2月10日 ロトルア病院で2月8日夜5歳児が死亡した事件を受けて、24歳の男が暴力罪で逮捕された。
- 3月24日 北島中央 Desert Road 近くで先週発見された地中に埋められていた死体は30代の中国人男性で2017年以降行方不明である人物の可能性が高いと発表された。

5 日本人が巻き込まれた案件

【場 所】 オークランド市南部 Karaka

【被害者】 日本人男性（30代）

ドライブインに駐車してあったバスが車上荒らしの被害に遭った。

【場 所】 オークランド市 Kingsland

【被害者】 日本人男性（40代）

オークランド戦争記念博物館に鞆を置き忘れ、パスポート、財布、クレジットカード、免許証、Wifi ルーター、現金等の貴重品を置き引きに遭った。

【場 所】 ネーピア市

【被害者】 日本人男性（20代）

宿泊しているバックパッカーで貴重品を盗難に遭った。

【場 所】 ロトルア市

【被害者】 日本人男性（30代）

釣りをするため車を駐車し、10分ほどして車に戻ったところ、窓ガラスが割られ、車中にあった貴重品を含む荷物が盗難に遭った。

【場 所】 オークランド市 Glen Innes

【被害者】 日本人男性（20代）

飲酒し、バス停にリュックサックを置き忘れ、パスポート、財布、衣類、教科書を置き引きに遭った。

【場 所】 オークランド市 Ellerslie

【被害者】 日本人女性（50代）

仕事で留守中に空き巣に入られ、パスポートを含む貴重品を盗まれた。

以上